

令和5年度第3回広島市障害者施策推進協議会各議題に対する意見への対応等

※協議会での発言順で掲載しています。

No	資料・ページ	意見要旨	回答・対応方針
1	資料3 P17・18	(岡本委員) 悪質商法などSNSによるトラブルに障害者が巻き込まれないための対策と、計画への記載を御検討いただきたい。	施策としては、(株)広島情報シンフォニーに委託して行っているICT講習会(P38)等で情報リテラシー(情報を正しく読み解き、発信すること)について取り扱うなど対応していきます。 計画の記載については、SNSによる悪質商法へのトラブル対策について市民講座を実施していることなど踏まえ、P29の「障害者基本法に対応した取組の実施」(消費者としての利益擁護、選挙時における配慮等)に含むものと考えています。
2	資料3 P25・26	(上山委員) 障害者の本人活動の支援については、もっと話題に上がっても良いと思う。	本人活動は、障害者自らが企画・運営する勉強会やスポーツ、ボランティア活動など、社会参加や生涯学習に係るあらゆる活動が含まれます。 社会参加や生涯学習の支援については、P16の施策の柱1-施策項目(3)-施策展開①「障害者の主体的な参加による幅広い交流の場づくり」や、P43の施策の柱5-施策項目(2)-施策展開②「生涯を通じた学習活動の充実」などにおいて、幅広く計画に掲載しています。
3	資料3 P38・39	(江本委員、岡本委員) 施策の柱6-施策項目(3)-施策展開①に新規・拡充事業がない。新しい取組を取り入れて、前進していく姿勢を見せてほしい。	就労支援については、施策の柱6-施策項目(2)において、新規・拡充事業を掲載しており、充実に向けて取り組むとしていますが、新たに、P52の施策の柱6-施策項目(3)-施策展開①に「《新》ICTを活用した就労の検討」を追加しました。外出や長時間の勤務が困難な方であってもICTを活用して、就労できるような方策を検討していきます。